

企業会計基準委員会と国際会計基準審議会とは共同プロジェクト立ち上げに 向けて協議開始

平成 16 年 10 月 12 日

企業会計基準委員会（ASBJ）と国際会計基準審議会（IASB）とは、本日、会計基準のコンバージェンスを最終目標として現行基準の差異を可能な限り縮小する共同プロジェクトの立ち上げに向けて協議を開始しました。今回の取り組みは、高品質な会計基準への国際的なコンバージェンスを推進するための第一ステップであり、国際的な資本市場の発展に資するものと期待しています。

今回の会合では、共同プロジェクトの進め方などについて話し合い、早期のプロジェクト立ち上げに向けて協議していくことになりました。

斎藤静樹 企業会計基準委員会委員長は、「世界の主要な会計基準設定主体が連携を図り、会計基準の差異を可能な限り小さくしていくことが、国際的な資本市場の発展にとって重要なことであると認識している。国内の制度作りとの関係と、国際的な秩序への貢献との両面を視野に入れて適切に対応していきたい。」と語っています。

David Tweedie 国際会計基準審議会議長は、「IASB の目標は、単一の高品質かつ国際的な会計基準の使用を推進することである。我々は、両者の基準間の差異を検討し、経済的事実が類似しているところでは、我々の二つの方法のどちらが経済的事態をもっとも反映しているかを議論することを共同で行うこととした。この決定は、世界的な会計基準のコンバージェンスに対する大きな後押しになる。私は、この歴史的な一步を踏み出すという ASBJ の決定を賞賛する。」と語っています。

問合せ先

企業会計基準委員会事務局 Tel 03-5561-9618 (代)